

～～第8726回～～

雨飾山

～R1. 7. 26-28～

1日目:沼津より車にて新東名、中央道を経て長野道に入り、安曇野 IC 降りて小谷温泉に向かう。途中雨が降っている箇所があって、先行きが心配されたが、現地の湯峠に着いた時はよく晴れていた。登山道入口手前で道路に割れ目があり、300mほど余分に歩くことになった。登山道両脇には雪の重みで根元が曲がった木々が多くみられた。ブナ・ウツギ・カメノキ・ヤマアジサイなどがきれいだった。登るにつれ、後方には雨飾山が見え、前方には大渚山東峰の荒々しい岩肌が迫ってくる。一旦下っていよいよ山肌にとりつき急登となる。雪にもめげず伸びる木々に励まされ、東峰到着。ここで昼食をとり、展望台と三角点のある大渚山山頂へ。遠くまでは見渡せなかったが、高妻山らしき姿を発見して、下山した。湯峠から宿に直行でなく、3日目予定の鎌池に寄ることにした。ブナ林亭から鎌池を時計回りで一周した。途中ナタ池も見た。根元が少し曲がった木が池に映る様子は風情があった。宿は登録有形文化財に指定されている古い旅館で、ゆったりすることができた。

2日目:雨飾山登山の日、まずまずの天気だ。朝昼用の弁当を入れて登山口まで車で移動した。登山道の入口付近は湿地帯で木道に行く。やがてブナ林に入り、木の根の間を登って行く。カーブごとに大きなブナの木があり、耳を当ててみることもあった。6:00すぎにむすびで腹ごしらえをし、登り態勢になる。ブナ平らで少しゆるやかになった後、徐々に登りせかく高度を上げたのに、荒菅沢へは一気に下る。雪溪が残る沢に渡ると、雨飾の山頂が見えてきた。夏山らしい景色になってきたが登りも急だ。岩の間を進むと高山植物も見られた。キンレイカ・シモツケソウ・イブキジャコウソウ・ミヤマウツボグサ・クガイソウ・ギボウシなどだ。そして広々とした笹原に着く。笹の間は花畑になっていて、右手には日本海が見えた。なだらかな道を進み、いよいよ山頂へのとりつきに入る。段差の大きい岩の道となり、足元に気をつけながら、頂上をめざす。石仏のある北峰から南峰に移ると、大勢の登山者でにぎわっていた。まだ10:00前だが昼食タイムとする。そして景色を楽しみながら同じルートを下った。笹平でほんの一瞬の雨にヒヤッとしたがぬれることもなくて良かった。登る時は必死で気づかなかったが、下りはこんなに急だったかと驚く。湿地帯まで来ると流れる川にイワナをみつけて喜んだ。登山口にもどった時、また一瞬の雨があり山行中でなくてよかったと胸をなでおろした。

3日目:2日間で予定をクリアしたので本日は観光の日となる。千国街道(塩の道)にある三つの資料館を見てまわった。小谷村郷土館・千国の庄史料館・牛方宿だ。昔の暮らしに思いを馳せた一時だった。そして行きと同じ経路で沼津に帰ってきた。今回、初日の大渚山が思った以上にきつくて、雨飾山への足慣らしには十分すぎるものだったことを記しておく。

参加者:4名(沼津)

天気：①晴れ ②晴れのち曇り ③曇り

地図：雨飾山

コースタイム：沼津 500＝安曇野 815＝小谷温泉＝湯峠 1010-25…東峰 1150-1230…大渚山 1248-1300…湯峠 1426-35＝鎌池ブナ林亭 1455…鎌池一周…ブナ林亭 1540＝小谷温泉 1600-500＝雨飾山登山口 510-30…ブナ平 645…荒菅沢 730…笹平 930…雨飾山北峰 950…南峰 955-1045…笹平 1118…荒菅沢 1250…ブナ平 1355…登山口 1500-05＝小谷温泉 1525-900＝小谷村郷土館 920-50＝千国の庄史料館 1000-20＝牛方宿 1030-55＝大町＝安曇野 1255＝沼津 1600

記録：沼津支部 S.K